

# 本土寺過去帳と柏の中世

— 柏市域の武士、一般庶民、猿楽者まで、本土寺過去帳は記載した —



松戸市平賀の古刹本土寺（左）、境根原古戦場跡（柏市光ヶ丘団地内：右）

本土寺過去帳は、松戸市平賀の日蓮宗本土寺に残された過去帳であり、東葛飾はもとより千葉県内の中世の人々の足跡をたどるための貴重な古文書です。その本土寺過去帳からは記載された方の俗名、なくなった場所や状況も書かれていることがあり、それを手がかりに、様々なことを知ることができます。

その本土寺過去帳を読んでいると、出てくる地名が柏市域や周辺のものも少なくありません。また、市川合戦や境根原合戦など、享徳の乱前後の戦いでなくなった方の名前などから、広範囲な勢力のつながり、対立関係など当時の状況を知ることができます。さらに本土寺過去帳には、例えば大工さんのような当時の一般庶民も記載されていますが、猿楽者も現在の柏市豊四季には居住していたことが分かります。柏市域に焦点をあてて、本土寺過去帳の世界を垣間見てみませんか。

日時：**平成28年12月18日（日）**  
**13時30分 ～ 15時30分まで**（13時開場）

場所：柏中央公民館 4階 集会室1・2  
（柏市柏5丁目8番12号（教育福祉会館内）～柏駅東口より徒歩10分）

テーマ：本土寺過去帳と柏の中世

講師：当会より

参加費：会員100円、会員外300円（資料代など）

その他：教育福祉会館の1F、2Fは公民館ではありませんので、ご注意願います。

主催：手賀沼と松ヶ崎城の歴史を考える会

【お問合せ先】E-Mail : [info@matsugasaki-jo.net](mailto:info@matsugasaki-jo.net) TEL : 090-3579-5185 森（平日は18時以降で）